

2024 年度 第 1 1 回会議録

福生第四小学校 CS 委員会

2025 年 3 月 22 日（木）9:30～12:20

司会：山崎会長 会議録作成 金子

出席者

山崎会長、高山委員、三ツ木委員、並木委員、山田委員、太田委員、石丸委員、金子委員、佐藤先生、南方校長

欠席者

宮本委員

傍聴者

樋上二中 PTA 会長、大勝 2 中 P T A 役員、
板垣 7 小 C S 委員会会長、尾澤 P T A 役員

1) 挨拶・報告

1) 報 告

a) 山崎会長 近況報告

- ・四小 CS 委員会について次の内容を傍聴者へ説明した。
四小 HP に掲載されている四小 CS 委員会の内容紹介、会長によるレジメ作成と LINE による事前確認、委員会の最初に会長近況報告、会長による会議進行、会議録は委員が持ち回りで作成。
- ・前回第 10 回目 CS 委員会会議録の確認について
→ 承認する。HP 掲載へ。
- ・議事録の AI 自動作成化について
無料版で対応すると精度の点で厳しいが今回録音して試してみる。ネットワークが繋がるとやり易い。やり方は今後も検討する。（金子）
- ・近況報告は、今回より資料「委員長報告」を準備して報告する。下記は要約した内容。
個人的満足度が高かったのは、実際に参加した F（ENGINE in Tokyo）と C（話す力を育成する官民合同シンポジウム）であった。A（福生学校在り方委員会傍聴）では、生成 AI に対して校長がコメントされたことに共感した。C では「世界を変える 30 歳未満」にも選ばれた経歴を持っている方など各界の多才な方々が登壇していた。D（漁業フェア）では、気仙沼に行って挨拶した。四小で水産業の話などをしていただけそう。E（コミュニティ・スクール制度化 20 周年記念フォーラム）では、学校を朝昼晩の 3 部制で活用する話があった。実際に朝早く登校する児童生徒もいることから、今後 CS で何かできないかと感じた。I（四小 PTA 実

行委員会)、J(福生市CD会議)、K(福生市教育委員会傍聴)では、最新の教育情報を収集している中で参加するとギャップを感じることもある。例えば、デジタル教科書の導入により学力が低下した国もあり、一概に新しい制度が良いと信じず、導入の効果を見極めることが必要ではないか、など。

b) 南方校長 学校近況報告(2/13~3/21)

以下トピックスを記載。詳細は報告資料を参照のこと。

1 はじめに

- ・子どもたちの健康状態は欠席者が減少し安定している。

2 教育活動振返り

- ・2/21(金)二中訪問・体験授業：子どもたちには良い刺激となる授業であった。部活見学も今年から始まっており、スケジュールに合わせて見学ができる。二中と小学校との連携が良くなっていることを実感した。
- ・2/25(火)、3/3(月)、3/10(月)夢・未来プロジェクト：地域の方が6年生に仕事の話をするキャリア教育を通して、子どもたちには将来のイメージを持ってもらいたい。
- ・3/6(木)高齢者施設訪問：4年生がサンシャインビラを訪問。最後に歌を披露したら、お年寄りに大変喜ばれた。今後も継続したい。

<今後の予定>

- ・3/24(月)修了式・離任式：離任式では一部の先生の挨拶を予定している。
- ・3/25(火)卒業式：学校が一丸となって準備している。

<その他>

- ・教育委員会表彰(2名)：5年生女子1名が水泳のジュニアオリンピック全国大会に出場。5年生男子が小学生スケートボード大会で日本一となった。
- ・新一年生：54名2クラスの見込み。

c) 石丸委員 PTA 報告

以下トピックスを記載。詳細は「PTA本部報告(令和7年2月12日~)」を参照のこと。

- ・本部は、会長、副会長、会計に立候補があり、次年度は新体制となる。
- ・会則は、事業委員の名称を学年委員に変更することが内定している。
- ・第1回実行委員会(新旧実行委員参加)は、4月17日に予定。
- ・PTA総会は5月10日(土)の四校時目に先生方も参加して開催予定。
→ 先生、新旧役員、CS委員との懇親会をお願いしたい。(山崎)
- ・次年度二中学区交流会の活動内容は現在検討中。3月28日に会議を予定している。
- ・今年度市P連活動報告を3月18日スクレで配信。次年度市P連事業を検討中。事業候補として日本語検定があがっている。4月11日の会議で詳細内容を検討する。なお、

定期総会は 6 月 15 日（日）を予定。

→ 次年度、四小だけで実施しているスクルレは止めて、Tetoru に統一する。（校長）

d) 新旧委員紹介

石丸委員が退任し、次年度 PTA 会長となる出雲さんが委員となる。出雲さんには委員会日程を連絡している。（山崎）

2) 熟議

a) 令和 6 年度の活動記録書確認

・会計報告

PTA からの補助がまだであったため、石丸さんと調整し、次回（4 月の第 1 回 CS 委員会）までに報告する。（金子）

→ 市の補助は市事務に確認する。（山崎）

・活動記録書

4 月 4 日（金）に提出することから 3 月中に確認してほしい。（山崎）

b) 令和 6 年度「学校評価」、令和 7 年度「学校経営方針」について

・学校評価書について（学校長）

HP には令和 6 年度の学校評価の資料を掲載しているので参照してほしい。掲載した資料は、「学校評価結果集」、「学校自己評価シート」、「学校評価総括表」、「学校評価書」。「学校評価書」のトピックスとして、4 ページ「4 学校関係者評価の総括」の説明がなされた。

・学校経営方針について（学校長）

「令和 7 年度 福生市立学校 学校経営方針」

校内研究は、「子どもの笑顔を引き出す魅力的な授業の創造～地域と連携した体験活動を通して～」をテーマとし、CS10 周年に向けて、学校全体として盛り上げていきたいので協力をお願いしたい。また、本年度の目標として、教育委員会から示されている「英語教育の推進」、「読書活動の推進」、「家庭生活の習慣」に沿って設定している。

経営の具体策として、副担任を配置することで複数指導体制を継続する。家庭学習の習慣としては、ふっさっ子の広場と連携し、1 年生は全員登録してもらい、ふっさっ子の広場で勉強することで、家庭学習に繋げるようにしたい。サマースクールの補習は CS 委員会経由で福生高校のボランティアを活用することで進めていきたい。教科担任制が進み始めているが、四小は二学級ある学年に対して交換授業の形式として進め、教師の質の向上と児童の学力向上を図りたい。PTA の事業委員を学年委員に変更することで、教師と保護者の連携を強化して、学校と保護者の見守りの体制を作っていく。このように、学校、家庭、地域が同じ方向に向けていけるよう注力したい。読書活動も朝の読書の時間に CS 委員に参加してもらいながら本の世界に歩んでもらえるようにしたい。

→ 英語力の強化については、英検を土曜クローバークラブで実施することも可能。また、福生高校の英語部にボランティア協力してもらうことなども考えられる。先生方と一緒に検討したい。美術なども福生高校の協力を打診している。（山崎）

・行事予定について（佐藤先生）

主な行事は次。

5月：10日（土）4時間目にPTA総会、31日（土）に運動会

6月：11日（水）二中学区交流会にて、四小児童が二中の授業を参観する。

7月：18日（土）終業式、防災花火教室

夏休み：水泳指導がなくなるため、児童の登校が減る見込み。そのため、図工コンクールへの参加を見込んだ居場所を設けたい。

9月：6日（土）道徳授業地区公開講座において、健全育成音楽劇を予定。12日（金）「笑顔と学びの体験活動プロジェクト（仮）」を設定しているが、キッズニアが組めなくなったことより、10月の学習発表会に繋げるものにしたい。27日（土）クローバーまつりでは、教職員による出し物は児童をホストにすることも考えてみたい。

10月：24日（金）、25日（土）学習発表会を予定。11月の市小学校音楽会とは別ものにして児童の表現力などの育成に繋げたい。

11月：19日（水）二中学校交流会では、一小、六小、二中の先生が来校して四小の授業を参観する。28日（金）市小学校音楽会

2月：10日（火）四小まつりでは、異学年交流ができる活動を計画

その他：校内研究では直接体験を重視して、児童の記憶に残りやすくしたい。教職員には、学級経営、生活指導、保護者対応での課題を校内研究の中に含めている。

PTA学年委員とは、学級担任、学年担任と連携を深めていきたい。4月30日のカリキュラム相談会では関係性構築と教職員研修の意味合いとしたい。

CS10周年事業：児童が参加する会にするならば、3学期がよさそう。

資料誤り：7月26日（土）、27日（日）は、加美・長沢の祭礼が正しい。また、10月18日（土）、19日（日）は、永田の祭礼が正しい。

b) 土曜クローバークラブ（金子委員、山崎会長）

・次年度の予定

通常日程は、4/26、5/17、6/14、7/12、11/8、12/13、2/7、3/7の各土曜日を予定。開催予定の講座は、将棋、絵手紙、野球、日舞、料理、アルティメット。バドミントンは、体育館工事の関係でなしとした。その他、クローバーまつりは9/27（土）、漢字検定は1/31（土）、3/14（土）に地域探検を予定。さらに、お仕事体験教室をクローバーまつりに向けて6月から9月に計画中。民謡パレード練習、高校生とのダンス教室、プログラミング教室、ドローン教室も計画中。

- いずれも日程が確定したら連絡する。(金子)
- クローバーまつりの内容はこれから CD で話し合っていく。(三ツ木)
- クローバーまつりの開催時間(午前か午後か)しょう害理解啓発イベントも考えたい。(山崎)
- 民踊パレードは、PTA と連携しながら対応する。(山崎)

・その他の予定

- ・通学路点検：CS 委員と PTA 役員で対応する。(山崎)
- ・横断歩道の旗：市より旗を入手。別途、CS 委員により、旗を設置する。(山崎)
- ・保健委員会講演：6 月に PTA と連携して計画中。CS 委員はサポート役。(山崎)
- ・4 月 30 日(水)カリキュラム相談会：PTA の参加を呼び掛ける。(石丸)

c) 四小 CS10 周年について(山崎会長)

- ・セレモニーは考えていない。(山崎)
- ・過去のイベントより、児童、教職員の取り組み、地域の巻き込みを振り返りながら、地域や教職員、保護者の視点で考えるとやることで内容も定まるのではないかと。教職員へのアプローチはやれる。(佐藤先生)
- ・読書と演劇をミックスした読書劇を大学の演習授業で考えたことがあり、学校目標の読書活動と絡められるのではないかと。(金子)
- ・地域を巡りながら危険箇所を探る取り組みを行い、例えば川の危険は河童がいるからなど、危険の原因を妖怪に見立てて、妖怪の絵と名前、そしてどのような悪さをするのかを想像しながらまとめ、発表するイベントはどうか。(金子)
- ・何をやる、誰向けにやるという視点に加えて、スケジュールを決めておくといふ。アイデアを出し切って、削っていく方法もある。ホワイトボードに付箋を貼るなど。(佐藤先生)
- ・市として費用を出してもらえるのか確認するためにも内容を決めておく必要がある。(校長)
- 4 月の第 1 回 CS 委員会でアイデアを出し、5 月に決定する。(山崎)

3) 報告・提案より

a) 土曜クローバークラブ(金子委員)

熟議・検討で報告済み

b) 大きな卒業証書(太田委員)

大きな卒業証書の組み立て協力をお願いします。予定日は 3 月 25 日。

c) 各委員からの近況、地域状況

三ツ木：ふっさ子で気になる児童の行動がみられる。

- ・タブレットでの漢字練習では、親指でなぞっている。親指でなぞることで覚えられるのか。
- アプリの書き順設定は可能。四小ではタブレットでの漢字練習もさせているが、実際に書く練習もさせている。(佐藤先生)

- ・鉛筆を正しく持てない児童や筆圧が弱い児童がいる。
 - ・先生からの解答通知を待って、宿題をやり始める児童がいる。
- 間違いを含めてノートに書く習慣が必要。(山崎)

太田：ロータリークラブで行っている交換留学生支援や東日本大震災で被災された家庭への奨学金給付などの対象者からの発表を 4 月 2 日に行う予定なのでご参加ください。来年度は瑞穂町の一部の小学校に対して、朝食を提供するような事業を申請する。また、防災花火教室の資金が継続できるように進めている。さらに、プールの活用について、各方面に聞いているが決まっていないとのこと。

- 学校としても決めていない。(校長)
- 「入学おめでとう」のコーナーを作ってもよいかな？
- 予算はある。(金子)
- 他校の例だが、入学の写真スポットを多数用意したら好評だった。(並木)
- LINE で案を流す。(太田)

山田：外国籍の方が増えているため、民生委員としての対応方法を考えていかなければならない。

高山：3 月 15 日（土）に保育園の卒園式が終了し、19 名が卒園した。そのうち 14 名が四小に入学する。東京都のスポットプログラムに来年も参加して子どもたちの学びに結びつけていく。

- 小学校との合同研修会もやってみたい。(校長)
- 秋田先生が来られる研修日程が分かったらお知らせいただきたい。(佐藤先生)
- 立川グランデオ 8 階通路で保育園からの展示を行うので、行った際にはご覧ください。4 月 16 日（水）～5 月 11 日（日）

金子：12 月にプログラミング教室の取り組みを申請した「PLI STEA・探究グランプリ」は残念ながら落選した。全国から 81 校が申請していて、10 校が受賞、2 校が特別賞であった。受賞した学校は、企業と学校全体が一体で取り組んだものであり、四小とは規模が違った。3 月 4 日（火）に経産省主催「未来の教室成果報告会」に参加。渋谷区では PTA 連合会が法人を作って、学校に「ヒト、モノ、カネ」を提供し始めている。3 月 13 日（木）に JAXA が絡む科学教室に参加。探究授業の形式にできないかと感じた。また、今年秋にミネルバ大学が東京に進出する。探究授業が中心でコミュニケーション力が求められるが、これは時代の要請であり、小学生のうちからコミュニケーション力を付ける必要があろうと感じる。

並木：教職員志望の学生のコミュニケーションに変化を感じている。今の学生は LINE などの文字連絡が中心で、電話による連絡をあまり行わない。しかし、教員になった場合は、電話は保護者との連絡には中心となる手段であり、子どもの不完全な言葉を解釈し、会話を繋ぐ力も求められる。これから学生を社会に送り出す際に、どのような力を身に付け

させていくか、課題を感じている。

教員採用試験免除の自治体が進んでいるが、論文を書かせる自治体も 1/3 程度に減っており、話すこと・聞くこと、読むこと・書くことの力を高め、現場に送り出していくことの大切さを実感している。

山崎：永田と長沢の町会長が代わる。町会総会後の次回委員会で紹介したい。言葉の教育で落語や講談を聞かせたい。

4) 資料

- ・2024 年度第 11 回 CS 委員会レジメ
- ・2024 年度 福生市立学校 学校運営協議会活動記録
- ・学校近況報告（2/13～3/21）
- ・令和 6 年度 学校評価書（令和 7 年 3 月 3 日）
- ・令和 7 年度 福生市立学校 学校経営方針
- ・令和 7 年度 行事予定表

5) 次回の会議

第 1 回 CS 委員会 2025 年 4 月 17 日(木)9 時 30 分から